



經濟救治策管見

本書は前政府當局法公に對し法治ノ系記  
 少訂正印刷ニ付し各條時議會中貴衆兩  
 院議案一覽ニ列せしモノ也而序後

(未定稿)



114  
A1004

### 目下の經濟救治意見



吾輩は素より經濟學者でない唯一個の小商人にして既往十數年間東洋貿易と云ふ上に眼を注ぎ様々の現象に就て種々の取調べをなし或は憂慮胸に迫り或は歡喜心を躍らすと云ふが如き間に索居して獨り自分丈けの意見を定め自分丈けの目的を立て、未だ一度も人に語りた事などはないのである箇様に經濟學者でもない又た一度も此種の論を人に語つたことのない者が何等の譯で經濟救治意見などを突然として持ち出すかといへば目下經濟界の景勢が吾輩の如きものまでも黙止して居られぬ様に成て來たからである即ち三十年の辛苦を積み稍形ちをなしたる日本の經濟が其土臺から粉碎して仕舞ふと云ふ危殆の景勢になつたからである

目下吾國の經濟界が此の如き枯血の容體に陥りたるは抑も本來如何なる病根がありて此の如き危殆の脈搏を現はしつゝあるか此れに就ては種々様々のドクトル博士が診斷を試み色々の意見を立て、治療の方法を講じて居るが素より卓識經驗のある諸先生方ゆへ如才手拔けの有ふ様はないが吾輩は如何なる勇氣を振ふて考ふるも此の諸先生方にのみ御任せ申して全快の日を待て居ることが出來ぬのである如何となれば是程危殆

の容體に臨んだ患者に未だ病氣の原因も極まらず随つて病名も何と云ふ病氣やら此れと云ふ名稱が付かぬから施藥の方法も素より講究中で「コ」仕よふか「ア」仕よふかと詰り探りを入れて居るのみだから此の後如何なる名法名劑即ち起死回生の奇藥を得ると云へども服藥せぬ先きに効目のあらふ様はないから此儘では枕邊に千百の名醫を連れねて死するの外あるまいと思ふ唯た異口同音に一定した諸先生の意見に外資を飲まするが好いと云ふ丈けは極まつて居る様だ然るに此の外資なるものは丁度病人に與ふる滋養物の様なる物にて醫者心なき素人にも此の場合には食はするが好いと思ふに相違ない決して名醫や大博士の指圖を待たないでも國家否な人間が發達して來れば不斷常住に屹度朝晩にも食ふ様になる品物だから別に名法でも名藥でもない當り前に人間の食はねばならぬ物である又た必らず食ふ様になり食はれる様になり食はねばならぬ様に請合ひ成るのである故に今此の病人に之れを施すに付いての利害は食はせ方飲ませ方だけにありて如何なる効大なる滋養物でも無暗亂暴に與ふるときは忽ちにして胃腸を破り却て健康を傷ふにより食はせぬ方が増しである既に先きの諸先生方に色々其食はせ方を説いて居る人がある先づ第一に

財務當局の或る親玉は曰く

抑も外資なるものは今日に必要な滋養物には相違ない然れ共古語にも一利を求めんと欲して三害を得ると云ふこともあり唯たさへ複雑なる日本の經濟界に又た外國の資本を容るゝときは實に複雑に複雑を加ふる道理故へ此の複雑の内に多數の禍機を含蓄しては居らぬかと思ふ又た日本が是迄に滋養物を食はないで斯る病氣に成りて居るのなら兎も角も實際滋養物を食ひ過ぎて斯る病氣に苦悶して居るのだから尙ほ此上滋養物を食はするが好いか又た暫く腹を乾して置くが好いかと云ふは醫術上の一問題にして未だ俄かに決する能はざる處である予も外資を以て現今の一時を救ふと云ふの一利は知れども之れに附屬する許多の禍害なるものゝ有無を畏る云々

吾輩此の言を聞いて以爲らく何の事だ途方もない苟くも財政家として一國經濟の重任にある親玉にして此の如き曖昧迂遠の言を言はるゝは實に情なきとにて之れを以て將來の日本を思へば悲懼痛嘆亞々に困愁の涙を以てすると云ふ譯である元來日本の病氣は現今危篤である呼吸も壓迫して居る脈搏も亂急して居る心臓も亂動して居る顔色も退色して居る其上に劇熱煩悶して時々刻々に疲勞を加へつゝある是迄度々感染した感

胃やインフルエンザとは違ふて居る之に加ふるに昨年以來絶食して居る斯る病人に一滴の薬餌一匙の食物をも與へずして其名にドクトル、プロベスサーの稱を冠しながら空しく枕邊に坐して曰く此の一薬を用ふれば一時は快くなるか知らぬが述で二三の害が起りはせぬか知らぬ夫れも何と云ふ譯で何と云ふ害が起ると云ふ舍密學の理窟は知らねども元來食ひ過ぎと云ふが病根だから兎角何でも食はせぬが好いと云ふて首を左右に撚りて三月も四月も考案中と云ふ御殺者様に死生再びしがたき貴重の命を預けたる患者こそ災難なれ寧ろ一と思ひに打ち醫された方が増しなり全體薬や滋養物は生きて居る中に必要なもので死ぬて仕舞ふては役に立たぬものなり苦痛に煩悶して息も切ると云ふときは毒藥のアヘンさへ飲まするでないか之れは先づ其苦痛を助け命丈けを取り止めて其上にて治療を施すのである昔し此種の呑氣な先生が轍の鮒に一酌の水を與へず滄海の水を他日に約して枯魚を市に訪ふたと云ふ咄しがある嗟呼我國の轍中の鮒は異口同音に悲鳴を揚げて救助を此の呑氣な先生に乞へり

其上此の一利を求めて三害を得るといふことは極々智慧の乏しい昔の東洋の阿房の云ふたことである彼の眉尻の上り下りを見て渡世の方針を定むる誠に素早き十九世紀よ

り二十世紀に飛込まんとする經濟家の考ふる事でない苟くも經濟學の門に入りたる者でさへあれば十歳の童子でも斯る迂遠な事は考へぬのである十露盤を知らぬ阿房の云ふ事である即ち三より一引二殘る詰まり一利を求めて三害を得たらば二害損ではないか若し今ま日本の急病に用んとする滋養即ち外資が斯る差引損得の償はぬ物なれば實に考ふる直打もない物で苟くも經濟家として之れに三月も四月も考案を費す筈がない其筈のないことを此の先生が考へて居るから悲くなるのである悲いはづだ死なねばならぬから而して死ぬまでの苦みは死ぬのよりも苦しいから

又た日本が無暗に滋養物を食ひ過ぎたから此の病氣になつたと云はるゝが是迄何を食はせましたか又食はせ時はドンナ時に食はせました食はせ方は好き鹽梅に調理して食はせましたか而して其食はせ人は誰であるか吾輩は思ふに斯の尊嚴極まりなき 聖天子を戴き斯の慈愛限りなき四千萬の蒼生を乗せたる大日本國の生活を衛養するには其途に達した専門家の指圖により消化物にして滋養分ある品物に親切なる調理を施し人間の食ふべき適當なる時刻に食はしめてこそ健康にもなるべけれ譬へ滋養分ありとも不消化物に不完全なる調理を施し所謂荒刻みの生ま衰へを宵や夜中に亂暴な人に強い

付けさせたら彼の小錦や大戸平の如き強壯體のもでも忽ちにして病氣となるは必定吾輩は日本が此の如き過食病を起したは食ひ過ぎぬ以前に荒刻み生ま煮への不消化物を尤も悪き時刻に不意に食はされ爾後絶くす早く食はぬか今食へと矢鱈亂暴に無理強い付けをした人があるからと思ふ

日本が未だ過食病に陥らぬ以前に初めて食はせた者は何である即ち支那に對する戦争といふ者を食はせた次に一億五千萬圓といふ軍事公債を食はせた此の二つは體だに運動のついて居る時だから兎や角消化した其後に食はせたのは遼島半島である此れは滋養物である他邦の領土を割取して我國の版圖を擴むると云ふは英佛の強を宇内になした世界各國が舌を鼓して食ひたがつて居る滋養物である然れども日本に食はせたのは荒刻み生ま煮への不消化物である故に食ふたかと思ふと直に嘔吐して見る間に飛び出して仕舞ふたでないか次に臺灣を食はせたサー大變食つて三年胃囊の中に少しも消化せず二六時中腹の中でノタクリ廻つて最早吐くか痢すかせねば此れ丈けでも日本は死んで仕舞ふといふ騒ぎだ次ぎに食はせたのは償金二億五千萬圓である是れ亦た荒ら刻みの生ま煮へであるから曩きの一億五千萬圓の軍事公債をも償却することが出來ぬの

みならず様々な軍艦や鐵砲といふ衛生上消化しがたきものが出來た其次ぎに食はせたのが軍備擴張だ此れは兵隊や兵營と云ふ様な物を半分許り食はせて見たが今の模様にては中々消化しそに見へぬのである

サー是れだけは日本が過食病にならぬ以前に食はせたものである計らず不意に之れだけ食つた習慣のある處に亂暴な諸先生が集會や宴席に出張して演舌を始めた食ふべし々々日本は何程食つても大丈夫だ鐵道築港素より藥だ製造貿易太だ滋養だと正さに一年許りと云ふものは無暗矢鱈に夜も晝も亂暴に強い付けたから我が腹の破るゝ事も知らず引切りもなく食つたから現今の過食病に陥り下手にマゴ附けば助かりそうもない危篤の容體となつたのである

此の時に當りドクトル先生は頓と治療の方法にアグミ終に名案を考へ出した即ち食ひ過ぎた病氣だから藥も滋養も食はさぬが好い先づ暫く腹を乾して捨て、置いたら運能くば助かることもあらうと云ふ診斷を下されたは實に病人の爲めには情けなきことではありませんか

第二に説をなす人は政治的經濟家である曰く

日本の國は君主と國民とにて形をなして居る故に彼の政府と云ふものは此の兩者の事務所である此の事務所には種々な名譽とか責任とか云ふものが喰つ附いて居るから此の名譽や責任の爲めには時としては事務所費が非常に餘計に掛ることがある即ち現今は此の事務所が支那と戦争をした結果迹の始末や様々の仕構へにて莫大もない入費が増さねばならぬことになつて來たそこで此事務所員は大變氣の毒に思ひ又た苦痛を感じ色々十露盤を持つて見て事務所の方に出來るだけ儉約をして國民に餘計に此の入費を切り掛けぬ様にする方針を取つた此は大變好き考へである併しながら國民は此の事務所が斯く誠實なる考へにて世話をしてくれど云ふて平氣な顔をして出さぬ事のみ喜んで居る譯には往かぬせならば元來自分等の事務所だから屋根が破れ壁落ち町内比隣に對し信用を落す様なことがあれば詰り自分の耻だから見つともなくないだけの費用は出さねばならぬ處が我が國民は能く此等の道理は知つて居る故出そうと思つて見ると是迄とは違ひ大分の巨額だから今の儘では出すことが出來ぬそこで今迄より商賣を擴め何でも餘計に儲かることにせねばならぬと八方に手分けをして山川海岸の差別なく様々の仕事を見附け事業に仕掛りて見たが元々貧乏な仲間だから元手資本が

足らぬソコデ愈々躍氣となり近所近邊は申すに及ばず親戚朋友と駆け廻り質入、投賣り七所借までしても思ひ立た事の半分も出來ぬ到頭世間に信用を失ひ人も相手にせぬ事になりて今では青い息を吐て惘<sup>モウ</sup>れて居る處だソコデ此儘に捨て、置けば今迄入れた金も損になる又た目的とした利益も上らぬから此所では一番事務所の方で手形を書き外國の人より金を借入れ嚮きに人民から融通した壹億五千萬圓と云ふ借入金返して遣るが好い又た政府に必要な鐵道も買上げて遣るが好いソールト此涸渴した民間に資本と云ふものが出來る資本が出來れば差寄り今の困難も凌ぎ事業商賣の車も廻る様に成る事業商賣の車が廻る様になれば儲かる儲れば出物切錢も出し能くならぬと云ふ始末だ其上政府は此の買上げた鐵道より上かる利益は悉く歳入になる今の官線だけでも五百萬圓以上儲かつて居るから此上買上げたら一千萬圓位の歳入はこれだけでも上がる様に成る云々

吾輩は此言を聞き實に其觀察の平易にして順序の適當なる感服の外ありません併し此の感服は外資を入るゝが好い入れねばならぬと云ふ處までの順序に感服したので其入れた外資の遣ひ拂ひの仕方に至りては異論なき能はず否な寧ろ大反對せねばならぬこ

元來公債償却鐵道買收は吾輩が國家經濟に對する目的である目下經濟界の困難を救ふ手段ではない吾輩は何とか都合して國民に借りた金は返す様になりたいたいものだ鐵道も國家に必要なもの丈けは政府で持てる様になりたいものだと思ふ此等の思望を抱くが故に早く目下の經濟を救治して國民生産の事業を確定し以て國家歳入の安固を謀り其上にて借金も返すことが出來鐵道も買上げる様に仕たい故に此の借金を返し鐵道を買上げるに云ふ事柄に不同意でない大賛成だ唯だ危險なる手形を振り出して國家の存立を異にする外國より利の附く金を借り之れを以て直に公債を償却し鐵道を買收するを目下の經濟救濟の手段とするに至ては此れこそ無謀の甚たしきものであると思ふ抑も目下日本の病氣は文明的資本の運用を知らぬ亂暴な國民が資本の程度と事業の緩急とを計らず無暗に仕事を思ひ立つたと思ふが原因で斯る九死一生の困苦に陥りて居るのである丁度馬鹿息子が吾家に何程の金があるかも知らず無暗矢鱈に鍋道樂をして種々様々の食ふことのならぬ物までも食つて病氣になりドット床に寝着いて尙ほ食ひたい腹が減つたと呻鳴る矢先きに腹が減つたら仕方がない餓へ死は可愛想だから曾て

惜りて居た一億五千萬圓も返して遣る貴様共の鐵道も買つて遣るから此の金を元手に食ひたいものを食へど道樂費を與ふると一般にて今此の資本の運用を知らぬ亂暴な國民に勝手に遣へる金を與へたら始め思ひ立つた事業の始末を附けることにのみ用ふれば幸ひだが音に其仕末を付けざるのみならず復々途方もなき無鐵砲な事業を起すのは必定である金がなくてさへ十四億六千萬圓も資本を入れねば始末の附かぬ事業を起す國民だから今金を與ふるといふことが極つたら今度は十倍も資本を要する事業を起すまいといふ請合ひはつかぬサーコー成つては最早日本の政府の信用手形位では助らぬことになる此れが入れた外資の遣ひ拂ひの仕方に対し不同意の一つである次ぎに鐵道を買收して國有に仕様と云ふとは日耳曼の流義を取つた者で日耳曼は此の國有鐵道によりて一千万圓以上の歳入を得て居るそうだから今日本が歳入に窮して居るから此の法を取つたが宜いと云ふ説が人氣問題になつて居る然るに之れは日耳曼だから出來るので日本では中々六かしい事と思ふなせならば獨逸といふ國は世界無比に行政の整理した國である鐵道なるものは文明國の最大利器だから整頓したる國家行政の保護を受けねば完全の働きをなすことが出來ぬものである然るに我日本の行政はと

うだ濟まないが實に情けない有様である夫れに今鐵道を買收して官有にしたらば新橋や横濱の如き鐵道廳の支局を方々に設けねばならぬサー纒かな今の鐵道支局でさへヤレ荷物が失せた附け火があつた役員が賄賂を取つた罪人が出來たと絶間もなく不始末のこと許りある處に日本の全國へ此の類の擴張をしたら實に大變である畢竟此れは行政不整理の處に時勢に適合した營業費即ち給料等を十分に與へぬからである今日の時節に七圓や八圓の給料にて働いてゆけるものでないかういふ鹽梅にて一切諸式の營業費が是までよりドント増加せねば鐵道の業務はされぬと見ねばならぬ而して其割に鐵道の運賃は直上げすることが出来るかといへば中々むづかしい當分言ひ出して見ても駄目だ左すれば一昨年あたりの戦争前後日本の鐵道の最も繁多で収入の多かつた時に五百萬圓以上あつた利益が此の後當てになりすか殊に今後買收して官線になる鐵道の價格は如何政府が買上げるのに商人の如くストライキや何かに附込み直切り倒して安く買ふ譯にゆかぬ人民が損せぬ様に不平せぬ様に十分の直段に買つて遣らねばならぬが當然である左すれば詰り高いに相違ない其高い鐵道を買ふに利の附く外國の金を借りて遣ふて引合ひますか假りに五朱の利で借入れて五朱の利益を目的としたらば元

々である今の官線鐵道の利益は五朱ではあるまいが元價が高く入費が餘計に掛ることになれば五朱もむづかしいと思ふ個様な品物を態々借入れた利の附く金で買入れ其代價は馬鹿息子の道樂費になるといふことを知つたらば逆も實行されることではない此れが入れた外資の遣ひ拂ひに不同意の二つである

次ぎに國家の上から論じて借りた金で公債を償却し鐵道を買上げ以て目下の困難を救済し生産力の發達を期圖するは大不利益であるなせなれば假りに一億萬圓の外資を入れ直に前のニタ事に當て國民に金を持たすれば已に論ずるが如き無暗な起業にでも悉皆投入して呉るれば宜いが是までの經驗上三割乃至四割は不生産的即ち或は家屋を改造し或は別荘を構へ又は外國へ漫遊を思ひ立ち總ての生活に贅澤品を用ひる等詰まり民間の購買力を増加して半は輸入品となりて外國へ流出することになる左すれば國家は借入金の一億萬圓に對する全額の利子を仕拂ひ之れを生産力に依て國家經濟に利益を負擔する資本は六千萬圓乃至七千萬圓にて受持たねばならぬことになる故丁度國家は殘酷な高利貸の金を借りて大變に世話の焼ける手に入る儲からぬ事業を買込んだ譯になる之れを當局者に勸むる人は左の三種に過ぎぬのである第一(學理と的例に拘



泥し實地經濟に疎き人(第二)株式に對する投機心に迷暎したる人(第三)外資輸入の爲め營業の利益を掠奪されんことを恐るゝ銀行家(今吾輩は順を追つて之れを説明したいが第一)第二の人は深く咎むる必要がない如何となれば第一の人は多くは熱心誠意に國家を憂ふるより發する議論にして内心是れによりて錢儲けを仕よふと云ふ野心のない人だから國家の經濟が平穩に歸することなれば其方に傾移するの公心があるから憂ふることはない第二の人は國家の經濟は倒さまになりても屁とも思はず唯だ自分の持株が高くなるか人の持株が安くなるかして錢さへ儲ければ異存のない極々望みの狭ひ卑劣な人だから茲に一點秋毫の私心もなく深く實地の經濟を調べ國と云ふものゝ存立に向つて公平に思ひを碎き公策を建つる者の心には相手にすることも耻ぢて居るからどうでも構はずに置いて宜い唯だ第三の人に至りては手に融通の機關を握り多少世の中にも信用ある人だから其言ふ事が尤もらしく聞ふるから溜らない故に吾輩は此の第三の人が當局者に勸告し又た世人に唱道して公債償却鐵道買収に賛成する腹合を一言し置くべし元來日本の銀行家なるものは滅法に臆病な癖に恐ろしく慾張る流義にて西洋の銀行家とは反對である彼れは大膽にして薄利に信用を維持する風習なれば資本常の格價

に事業の價格より低廉なるが故に融通の道滔々絶ふることなく苟且にも有益の事業と見れば直ちに資本を投下して薄利を永久に計るが故に如何程事業を起すも蹉跌を見ること少ない日本の銀行家は大違ひで自分の勝手の善い時は心にもないオベツカを遣つて貸出し融通を競争し少し廻りが悪くなれば直ちに右手を懐に入れて煙草許り口燻べ何程頭を下げ借りに往ても警戒と云ふ一言を以て門前拂ひを食はせ其花主の借主が其日に裸體一貫の身代限りになるも前に貸した金丈けは袋敲きにしても取附けて仕舞ふ左すれば始めから借りに來た人は打殺す手筈下た心にてオベツカを遣つて借らするのである之れを犬殺銀行といふ此の犬殺といふ奴は犬を殺す様な残酷なことをしても儲けたいと云ふ了簡だから犬を見ると笑みを作り左手を出して頭を撫で出し抜けに右の手の棒を以てなぐり殺すのである之れと同じ様なことを一年中稼ぎて一割か一割三分の恐しい高い配當をするから溜らない元來銀行なるものは負債を賣買して營業するものである人の揮で相撲の取賃に一割だの一割三分だのと云ふ儲けは恐しいほど高いものだ此れを借りて事業を起すものは利息と云ふ地獄に落ちて取附けと云ふ鬼に食ひ殺される様なものだ現に一昨年頃は一文も拂ひ込まぬ權利株に三圓だの五圓だのと

甘く花主を煽りて貸した銀行があるこんな煽り立て、一時にどつと出来た日本の泡沫會社だから此の上借らねば事業も成就せず又た借りた金も返されない、そこで今度借りて往て見ればおと、ひかいでと言つて一文も貸さない泣面を抱へて歸りて見れば期限の取附けが來て居るサー利息だの延期だのといふ其苦みは懲役も追つ付いたものでない此れが十四億六千萬圓と云ふ現今の日本にある千百の事業新會社の有様である左すれば今の困難は銀行が慾張りた爲めに勧められて事業が起り又た銀行が慾張つた爲めに取潰されて事業が崩るゝといふても過言であるまいと思ふサー此れからが本題である箇様な銀行が如何なる譯で目下の經濟救済策に外資を入れて公債を償却し鐵道を買收することを勸告し又た賛成するかといへば彼の古い句に

河豚汁をすゝめる人の心かな

と云ふ一語を以て足るべし下らない理屈があるのである夫れは今自分等の銀行にある錢を入れる、筈の弗箱に錢が入りて居ない下らない株券の抵當品許りである、そこで外資を入れるゝといふことに賛成否な寧ろ勸告せねば此の抵當が役に立つて來ぬ併し若し外資を入れて自分等の如き融通の營業をする金貸の機關でも出来れば大變だ外資で出来

なら屹度安利に相違ない左すれば自分共の營業を皆な取られて仕舞ふ營業を取らるれば競争せねばならぬ競争すれば利息を下げねばならぬ利息を下げれば儲けが少くない儲けが少くなれば配當も少ないそこで、茲一番此の阿房な國民の手に此の外資の金が直接に落ちる様にすれば元々馬鹿な奴等だから馬鹿な事業をするに相違ない馬鹿な事業さへすれば我々の業務が忙しいは無論である左すれば現今の配當を三年や五年は持ち耐ふることが出来る故に何でも國民の手に直接に金が落ちて風違ひの金貸屋などの出来ぬ様にするが一番だ、そこで、公債償却鐵道買收と云ふことを良策とすることは明かに分るのである

吾輩は常に憂ふ世界の文明は潮の岸を敲くが如く亞細亞海岸を取巻いて攻め寄せて居るから、どうがなして、世界の各國に耻ぢない丈けの文明の事業を起したい然れども資本の報酬即ち利息が此くの如く高くては如何に慘憺たる苦心を積むも世界の文明に拮抗することが出来ぬ悲いかな明治初年以來三十年の間畏れ多くも、天皇様を始め奉り幾回の政府や幾多の志士仁人を通して其悃誠を集め日夜寢食の間も怠ることなく千々に心魂を碎いて大日本國の進歩を謀り其功遂に空しからず驚くべき發達の階級を飛越へ

て今日の盛境に臨み今一步の段階を登りて宇内の強國と肩を駢べんとするの矢先きに此くの如き經濟の恐慌に會し資本の欠乏と金利の平低ならざるの爲めに幾多の事業を粉碎し去るは夫れ何等の痛恨を以てか是れに易へんやと思ひの此に至る毎に太い溜息を吐いて慨かぬことはない斯る次第だから吾輩は金利即ち資本の價格を平衡に押し下げるといふことが日本の事業を隆盛にして外國の事業と拮抗する様にする良法否な目的である夫れに何ぞや日本の融通機關を司る銀行家にして前に説くが如き習慣に感溺し聞くも思まはしき手前味噌の考へを起して一日の姑息を貪らんとするは實に情けないことではありませんか此等の惡習は今日吾輩等が打碎かすとも明年七月條約實施の以後法律の成行如何によりては實際の上にて外國の赤髯等に粉な微塵にされるのである此れが即ち入れた外資の遣ひ拂ひの仕方に対し不同意の三つである。然らば吾輩は今日世上のあらゆる論者に向つて不完全ながら自分の意見丈けを陳述した豫なく斷言すべし即ち縮小主義にて之れを救ふの外ありません斯く言はば不賛成人もあるうし又た吾輩にして尙ほ此の言を吐くかと慚む人もありまじよふが矢張り此の

主義の外ありません更に又た或る一種の人は政府が縮小主義を取居るから之れと同じことだと云ふ人もあらうがそれは政治上の縮小主義にて此の問題ではない此の經濟救済問題に付いての政府の方針はといへば何も爲ない主義見て居る主義打捨て主義にて決して縮小主義など云ふ二字名位で言盡さるゝ様な手易い主義ではありません然るに吾輩は政府が對民間事業の方針に先つて縮小主義と定めて居る縮小といふ字は十の物を六か七若くは二か三かに縮小して時勢に適合の度合ひと事業の必要不必要とを撰み其残りだけを能く親切に始末する之れを縮小主義といふ然るに今政府の生産事業に對する方針は縮小もせず膨脹もせず潰しもせず起しもせず角があつたら牛になれ夫れがないなら馬にでもなれと云ふ指圖もしない素より跡の始末などは附けそなな模様も見へない此れに世人が無理に消極主義とか縮小主義とか惡名を付ける人の氣が知れない政府の方針は、そんな狭い方針ではない故に吾輩は惡名と知りつゝ、自分の方針を縮小主義と定めたのである夫れは、どんな智者でも巾着でも今の日本の經濟に十四億萬圓以上に達する様な新事業は起すことが出来ぬのである起すことが出来ぬのに起つて居るから起す事の出来る程度まで縮小せねばならぬ

而して其の縮小の程度と云ふはドウ云ふ處まで、あるか其の又た縮小の法方は如何なる手段に據るかと云へは左の如し

(縮小の程度)今日吾國民間の生産事業にして是非爲ねはならぬ事丈けを選び之れを成立せしむるが爲め今日の經濟困難を救ひ得らるゝまでの程度

(縮小の法方)政府や人民の力にて縮小せず經濟機關の運轉し方にて好き頃る合ひまで起るものは起り潰るゝものは潰るゝ様に仕掛ける法方

之れを見る人は必ずソナ甘ひ事が出来る者かと云ふでせふが吾輩は大言す夫れが出来から妙です苟も文明國の人間なら其の位の事は遣り付ねばなるまい今ま順を追つて其の明案否な愚存を並べませふが此の案も矢張り錢が無ければ遣れない其の錢が有るのかと云へば其が有るのです何處にあると云へば外國にある夫では矢張り外資だ素より外資だが吾輩は現に見て來たんで見て來た計りで借りなければ隣の寶を窓越しに數へた様なものだと云われよふが夫れが屹度借れるのです

先づ吾輩の言を信じて目下の急を救ふは外資で現に金の有る外國がありて貸しようとも云ふとしたらば如何です今ま世人の外資くといへども云ふ許りで受合ひ借らるゝ

國貸す國と交渉して來て居る人がない先づ吾輩の方には其が有ると云ふ譯です然ら用其の外資を借りてドウ云ふ方法に仕用するかと問へば人民の手に直接渡さぬ様にするのです元來人民が資本の運用を知らないより出來た失策だから今度は充分に其の運ばと事業の緩急とを知つて居る人に遣はするのです夫れも尙ほ遣ひ方によりては國家經濟の休戚に關する事になるから監督者や相談役を付けて置くのです其の遣ひ人が工業銀行と云ふ者にして其の監督者や相談役は日本の政府です左すれば工業銀行はドウして拵へますか即ち政府と國會の協賛を経て工業銀行法案と云ふ者の結果で出來ます丁度勸業銀行の出來た様のものです此れは吾輩等の愚存位でコンナ者を拵へよふと云ふのでは有ませぬ時世の發達と日本の趨勢が要求したのであります日本が今の趨運で世界の間に進歩しよふと云へばドウしても融通機關の獨立と云ふことを謀らねばならぬ時です今ま商業貿易に必要な銀行會社の機關には日本銀行があります農業殖産開墾等に必要なる機關には勸業銀行があります茲では是非諸工業諸製造の發達に必要な十年若くば十五年間も掛らねば利益を見る事の出來ぬ固着資本即ち前の日本銀行や勸業銀行の如く發行高に制限ある流通資本に邪魔を入れぬ獨立専門の工業銀行を拵へね

ば發達に際限なき此の工業と云ふものゝ進歩が謀られませぬ然らば工業銀行の拵へ方はドウするかと云へば此の先きに記述する主意を委しく御覽さい

第一

帝國工業銀行を設立する事

理由

- (1) 吾帝國か世界の進運に伴ふて社會の發達力を助長せんには工業を以て基礎となさるべからず
- (2) 工業銀行の設立は帝國工業上の信用を堅ふし自から其の起業の發達時機を誤まらしめざるが爲なり

第二

工業銀行の資本金は外資を以て之に充つるを要す

理由

- (1) 工業銀行か帝國の工業に向つて融通する資本は多く固着資本なるにより之を他の商業貿易に必要な流通資本より汲收するときは忽ちにして經濟上の恐慌を

來し金利の降騰株式の價格を動搖せしめ工業の發達爲めに急劇の頓挫を被むるに至るべし是れ蓋し滔々不斷の流通資本を擧げて十數年間固着不動の事業に注入するの致す所にして是等は決して制限ある發行高を以て成立する銀行の耐へ得べきものに非ず故に印度の如き濠洲の如き多くは此發行高に制限なき外資を流用して内地の事業を經營し所謂資を人に得て利を吾に收むるの法により今日の旺盛を致す所以なり

- (2) 外資を以て内地の工業資本を融通するときには株式價格の亂高下を禦き國家流通資本の金利を平衡ならしむるを得又之が緩緊弛張を自在ならしめ總て工業上の失敗を支障するを得べし

- (3) 内地の工業を發達せしめんには素より之に對する獨立専門の機關銀行なかるべからず即ち固着資本をのみ融通して營業とする者を要すべし如何となれば國家の經濟を整理し三大事業の進歩を平坦ならしむるには其三大資本に對する融通機關無かるべからず譬へは

日本銀行各銀行會社の融通を尊る

勸業銀行等農林産業開墾の融通を掌るべし  
 工業銀行鐵道造船製鐵及の融通を掌る

第三

外資を輸入するには政府に於て債券に向て第二義務者の保證を與ふべし

理由

(1) 國家に適當なる理由と必要とありて外資を輸入するに當り吾が政府に於て其の保證を拒むは恰も一家の負債を起すに其の主人が返済を認めざるに齊し此場合に於ては一家の責任者たる主人は決して其保證を拒む能はざるものなり唯だ一の拒むべきは其負債を起すの理由と必要とを認めざるの場合にあるのみ然るに現今吾國家は經濟上の道理に照らして外資を入るゝの理由を有し外資を入るゝの外此恐慌の苦難を免るゝの道なしといふ程の必要を見るに政府何を以てか之を拒むを得んや啻に拒まざるのみならず進て之が講究をなさざるべからざるなり試みに此の理を以て宇内の各國を觀察するに地球表面何れの國家と雖も苟も政府を有するものは外資に對するの保證をなさざるものなし唯特別の場合に保

證すると普通平常に保證し置くとの別あるのみ特別保證とは今吾國家が政府に要求するが如き場合を云ひ普通の保證とは國家の法律を以て常に保證し置くをいふ彼の外資流入の尤も頻繁にして且つ巨額なる亞米利加の如きは如何なるものを返済義務の目的として流入するかと云へは國家の法律が平常保證の根底となり苟も資本を注入したる外人は若し米國の事業家が返済の義務を怠るときは其擔保たる米國山河の富を安全に領有し前持主同様に米國法律の保護を享くるを得るの法律あるが故に一事物毎に殊更に保證の手續をなすを要せざるなり再言すれば保證なるものは貸したる資本の元金と利息とを現金手抵當物かにて安全に受取るとを得るの方法を豫約するものなれば吾が日本の如く普通の保證即ち法律の擔保なき國家にして外資に特別の保證を與へざるは已に借入るときより返済の危険を表白するものなり故に何れの國か斯る危険の契約を以て資金を融通するものあらんや之を平坦直接に明言すれば外資なるものは國家の存立を異にせる邦土より供給せらるゝ資本なるにより其需用者たる國家は單に國家の事業のみを擔保として注入せらるゝものにあらず其事業の利益を如何に

確實に表白するも需用國に遵行する法律徳義にして缺點あらん乎疑懼警戒遂に其實行を見ざるものなれば一國の信用を代表する政府に於て之が返濟第二の保證をなすは其募集價格を維持し利息を安低ならしむるに於ても已に免る可からざるの責任とす

(2) 今若し單純なる事業會社が一己の責任を以て起すべき社債外資を假りに募集し得るとするも其會社一己の信用によりて注入せらるゝ資本なるにより其の擔保は債務會社の財産と種々の條件とに依らざるべからず束縛は營業を害し高利は利益を損ふ而して此の束縛高利は信用に缺點ある吾帝國の工業會社に對して海外資本家の最も施さんとする要點なるのみならず吾國現今の形勢に對し其債權者たる外人に直接に内地事業に權力を振ふの條件を與ふるは工業上の前途に對し可成警戒を加ふべき事たり故に其擔保に充つるに政府の信用を以てし此信用を間接ならしむるが爲めに第一の債務者たる工業銀行即ち假設會社を以てするは進歩國たる吾帝國の工業を發達せしむるに於て最も適當の方法とす

第四

外資輸入の金額は五千萬圓以上壹億三千萬圓以下を以て極度となすべし

理由

- (1) 工業銀行を設立して一時に斯る多額の資本を融通するを要するは切に左の利益を目的とす
  - (1) 固着資本により起る工業を奨勵するが爲めに他の商業貿易に必要な流通機關の營業を妨害せざること
  - (2) 成業の後利益あるとを確認する事業は即時に放資し起業年限を自在に短縮し得る事
  - (3) 起業年限を短縮し得るときは無利益の資金を創業時間に投遊するの憂なき事
  - (4) 起業年限短縮して即時に會社全般の機關を運轉し得るときは利益を收得する事最も迅速ならしむるを得る事
  - (5) 利益收得の速かなる會社の株券は其の價格を優豊ならしむるを得る事
  - (6) 起業年限短縮し利益を收得すると迅速に株券價格の優豊を保つときは國家十年の後に期する所の生産力は三年にして確定するを得べし

(7) 國家十年後の生産力を三年の後に確定するを得るときは他の一方に商業貿易の旺盛を期し國家歳入の膨張を計るに最も平易なる事

故に工業銀行を設立して現今の吾帝國の存立上必要缺く可からざるの事業に當らしめんには一ヶ年の利益少くも百分の八以上百分の十に該當する業務を撰まざるべからず今全國の版圖に於て凡そ左の資本を要すべし

(1) 鐵道

臺灣 貳千五百萬圓

北海道 貳千五百萬圓

本島 參千萬圓

(2) 製鋼

全國 壹千五百萬圓

(3) 造船

全國 貳千萬圓

(4) 築港

全國 貳千萬圓

全國 壹千五百萬圓

合計凡壹億三千萬圓

第五

外資に仕拂ふべき利息は多くも一ヶ年百分の五以下たるべき事

理由

(1) 外資一たび注入すれば其融通仕用の有無に論なく利息を仕拂ふべきものなるに  
より若し融通の道杜絶するときは何時にても他の國家に轉貸し又は他邦に於て  
確實なる株券を買收し何時にても外資に仕拂ふべき利息を得るの覺悟をなさざ  
るべからず若し然らずして之を強て内地に貸出し此の利息を得んとするときは  
忽にして他の商業貿易の融通を掌る機關を妨害し金利の暴落を來し株式の暴騰  
となり國家の利益を減殺するの奇象を呈するに至るべし故に其初に於て之か注  
意をなさざるべからず

第六

外資を募集するには少くも百圓に付九十七圓以上たるべき事



(1) 現今外人が日本に注入する資本の割打を標定するに政府直接の義務者にして百圓に付九十五圓以下にして一ヶ年百分の五の利息たるを要す蓋し現政府が曩きに英國ロスチャイルドに於て募集したる軍事公債五分利付の取引を以て標準としたるものなり然るに今第二の政府保證にして九十七圓以上の價格百分の五以下の利息にて募集するは最も困難の事たり然れども彼れ軍事公債は吾が國家の修繕粧飾に要する固定資本にして譬へ高利なるも其募集金額を得ざれば國家の必要を缺くに至るに付彼か如き價格利率にして募集せられたるものたり今此に要する工業銀行資本金は工業上の利益を目的として募集するものなるにより其融通上の計算に於て合格せざる時は寧ろ中止するの必要を來すのみならず其價格利率の消長は國家發達上の信用に關係するにより今日の形勢にては昂めて九十七圓以上の價格一ヶ年百分の五以下の利息たらざるべからざるなり

## 第七

外資の輸入して内地に運轉融通する契約年間は二十年以上三十年以下たるべき事

米國鐵道家の社債償却に對する計算の暗法によるに會社か配當する利益を假に一ヶ年百分の六と定め其三分ノ一を三十ヶ年積立利殖するときは其社債によりて布設せられにる鐵道及び財産は自から會社の有に歸するものなりと蓋し此事は單に鐵道の一事をいふ者なれども今吾帝國に於て計畫する事業は一ヶ年の利益大概百分の八より百分の十に該當すれば其内にて最も確實なるものを撰擇して之に此の資本を投し其設置したる財産を擔保として漸次償却せしむるも純然たる利益を以て吾國家の有に歸せしむるは凡三十ヶ年位を以て適當となすべし吾輩は已に工業銀行の設立に要する骨子の大略を記述しましたが此の銀行が出来れば如何なる景狀で今日の困難なる國家の生産事業を救済し随つて經濟の整理が出来ると云ふ摸様を茲に描き出して見ませふ

今日吾が國民の懐に金は無いかと云へは割合に中々有るです軍事公債壹億五千萬圓を村長や郡長が腰辨當で説き廻り絞り上げたけれども一方には戰爭の爲め勞力、賃銀、商賈等にて大分取り戻して居る金がある其の金がありて何で困るかと云へば其れが有ても

遣ふ事か出来ぬからです。ナセ遣はれないかと云へば大方泡沫會社の株金に拂ひ込んで或は百萬圓、五十萬圓、十萬圓と方々に道路普請の時の砂を盛りた様に幾千箇所と大小の蟻塚を拵へて居ります此の蟻塚には商法の規定によりて組織せられたる株式會社が張り番をして居るから此の株式會社でなければ此の蟻塚に手を付けるとが出来ませぬ唯だ嚴重に見張り計りをして已に二年或は三年となりませぬ之れを今一年若しくは半年も此儘に捨て、置けば微塵に碎けて仕舞ひます其の碎け方は役員給料旅費、日當諸雜費之れを細別すれば米屋、薪屋、料理屋、車代等の粉なになります全體金は塊まりて居る間は資本ですが之が粉な即ち分子となりますと錢と云ふ物になりますサー、錢と云ふ物になると人民と云ふ國家の胃腸を廻り、て税金となり政府に入り再び塊まりて資本と云ふ名の付くまでは經驗上六年或は七年掛るそうです此間に途中で消へ失せる事夥しきものにて或は舶來煙草、西洋酒等種々の外國品の代價となりて外國に出て行く金が大幅ですコーなりたら折角結晶した資本が碎けて粉なになり又た結晶して資本とならねばなりませんぬから十年間位は事業の勃興は見られませぬ併し吾輩は將來に事業の興らぬ事を憂ふる前に此蟻塚の小破る有様と小破れた迹の體裁が見て居られませぬ第一國家の

元動力たる人民が損をすることになりますから國は場末の火事迹の様になります唯だ夫れのみならず此の張番人の株式會社が株金は追々集まるだらふと云ふ。ダロー當てに外國に非常な注文を仕て居ります吾輩は昨年九月米國に行て見ましたが桑港の電信の針金屋やペンシルベニヤ鐵道會社の鐵工場、チカゴのイリノイスの製鐵場、ピツボルクのカーネギの製鐵場、バファローのグリツフインの製鐵場、ダンカアクの、ブルークスの製鐵場、ヒラデルヒヤアのポードインの製鐵場、其の他紐育にて三四ヶ所の鐵工場等に日本よりの注文は實に夥しきものであります此各鐵工場の社長や役員は口を極めて日本は實に盛んな國ですと云ふて無性に譽め立て吾輩を大變に饜應なしました吾輩は之れを聞く度びに胸に氣味惡るき動氣を打たせましたナセなれば今年の彼等が譽め聲は來年の惡口となるからです名も分らぬ日本の泡沫會社が夢の様な資本を當てにして注文した品物を彼れ米國人は夜も晝モドン／＼カン／＼チン／＼と地獄の様な音をさせて製造して居りますから此品物の代價は譬へ首をネジテモ取らねば承知しませぬ然るに昨年末の横濱神戸の受引の足取はドウデス實に危険な有様デス彼れ等は跡の注文があるから我慢はして居りますが未だに代理店の倉に積んで引取らぬ荷物が澤山です今年は下

ウしても五千萬圓以上の輸入超過で來年は最少シ多イソ一です再來年の五月頃迄は大分注文品が輸入して來ると云ふことですから其の押し込んで來る品物の荷受け主は前の粉ナ會社、夢商會です必ず訴訟問題が起るは受合ひ其時は即ち國と國との法律問題にて此れが幾百件と數限りはありません

吾輩は實にドウ我慢しても涙が出ます畏れ多き事ながら 天皇様を初め奉り上下官民の人々が永の年月容易ならぬ苦心慘憺をして漸々の思ひで出來た新條約實施の矢先きに臨んで斯る困難な事が續出して來ると云ふは實に思まわしくも又情けなき事にて米國旅行中も是れが胸に塞がつて世界絶佳の名山大川も心に止まらず物懐き風に旅の窓を打たれて夜も眠らない事がありました此等が腸に浸み渡りて原因となり外資と云ふ事を取調べたのです此故に吾輩の日本に輸入したいと思ふは荒刻みの生煮でない滋養物の外資を生産事業と云ふ蒸溜機に掛け一ヶ年八朱か一割かの利益即氣發物を得る目的で流入し之れを目下の經濟の困難を救濟する良藥としようと考定したのであります而して此良藥を施用する治療の方法は前に記述した方法書の様な組織で工業銀行を拵へます拵へた上では今日吾國實業界の大勢を識別した人に受持たせませす之れに政府及

び専門家を監督相談役として實施する場合になると譬へば十會社ある中に是非無くてならない國家必要の一會社若くは二會社を撰み充分に改良を促して貸し出す事にすると他の八九會社は今の内ならば資本の氣能を失はず解散し忽ち化して眞に成立する利益ある會社の資本に加合する事が出來るです詰まり工業大機關の銀行に信用を受けたる會社は成立し其信用を受けない會社は解散する事に極はまるです此の如く遞次に撰擢に撰擢を加へ改良に改良を加へて貸出しに貸だしを増すときは此の銀行に收むる所の擔保は有利有益の事業會社のみにして内外に通じて國家を涵養するの資けでないものはないようになり是れが爲めに潰れた泡沫會社の金は今の内ならば助かる事が出來ます是に始めて一時沈溜腐爛の慘況に陥りて居る日本の事業が再び興奮の階を開きまして更に他の頓挫して居ました諸般の事業を誘起し來るようになります其時此銀行は起りて來る事業毎に改善の要求をして合格すれば貸し出す様にしますから三年ならずして今日の嘆聲を歡喜の聲に化せしむる事が出來るだらふと思ひます之れか即ち吾輩の所謂目下の經濟救治策、外資論縮少主義の大略ですマダ此上に言へば講究して居る事も色々ありますけれ共初めにも申します如く經濟學者でも何でもなく唯だ平生日本現

今の有様を憂ふるの餘り之れを救済したいと云ふ熱心が溢れて是れ丈の御咄になつた  
のですから大間違の處は可愛想だと思ふて御教示を願ひます

